

新しん 緑みどり ニュース



病院の理念

確かな医療技術
やさしい対応
地域への貢献

さんきかい よこはましんみどりそうごうびょういん
医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院
 〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7
 TEL. 045-984-2400(代表) FAX. 045-983-4271
 地域医療連携室 TEL. 045-984-6216(直通)



『大腸がん検診を受けましょう!』



「大腸がんの早期発見」

わが国では悪性新生物（がん）が死因の第1位であり、その中を部位別にみると大腸がんは第2位の死亡数です。また、実際にがんになる患者さんの数では、日本で最も多いがんと言われており、毎年13.5万人の方が新たに大腸がんと診断され、今後さらに増加すると予測されています。

がん罹患数予測（2016年） 罹患数：がんにかかる人数

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	前立腺 92,600	胃 91,300	肺 90,600	大腸 84,700	肝臓 29,000
女性	乳房 90,000	大腸 62,500	肺 43,200	胃 42,600	子宮 30,200
男女計	大腸 147,200	胃 133,900	肺 133,800	前立腺 92,600	乳房 90,000

国立がん研究センター 2016年がん統計予測より

大腸がんは早期に発見し内視鏡や手術で治療すれば、高い確率で治癒することができます。しかしながら、早期のうちには自覚症状がないことが多く、自覚症状が現れた時には既に進行している可能性があります。

「便潜血検査（検便）を受けましょう」

大腸がんと診断される人の約50～75%は、便潜血検査で発見できると言われています。また、大腸がん検診を受けることで、大腸がんによって死亡する確率を約60～80%減らせるという調査結果も報告されており、実際に米国では大腸がんによる死亡数は減少傾向です。しかし、日本は大腸がん検診の受診率が低く、40～65歳では男性41.4%、女性34.5%に留まっており、依然として大腸がんによる死亡数は増加しつつあります。

大腸がんになる人が増え始める40歳を過ぎたら、便潜血検査など大腸がん検診を年に1度受けるようにしましょう。

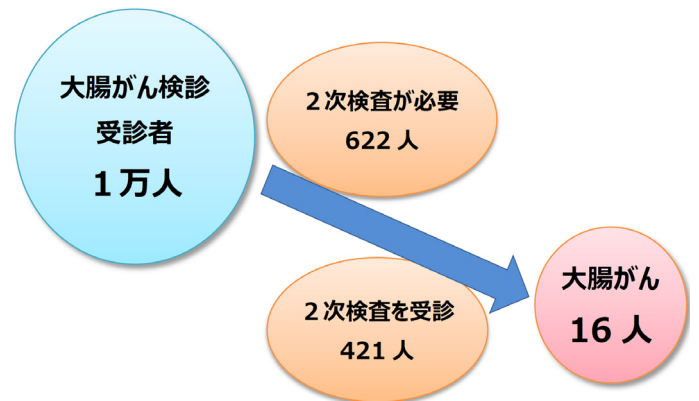
※ 当院の人間ドック・健診センターでも大腸がん検診を受けることができます。

お問合せ・ご予約 ☎ 045-984-3003

「便潜血陽性の結果通知を受け取ったら」

しかし、大腸がん検診を受けて便潜血反応が陽性としても、「どうせ痔があるから」「時間がない」などと言って医療機関を受診しない人も多くいます。

大腸がん検診受診者のうち2次健診（精密検査）が必要と言われた人は6%、この中で実際に精密検査を受けた人は68%でした。健診を受けて大腸がんが発見される人は0.16%です。（日本対がん協会 調査）



大腸がん検診や人間ドックで便潜血陽性の結果通知を受け取ったら、必ず医療機関を受診し、大腸内視鏡検査を受けましょう。

「苦痛のない検査が可能です」

当院での大腸内視鏡検査では鎮静剤も使用可能ですので、苦痛のない検査を受けることができます。また、大腸がん検診・精密検査から治療まで継続した診療、大腸がんの専門医の対応も可能です。

要精密検査となった場合は、当院消化器センターへご相談ください。

横浜市にお住まいの方
 大腸がん検診費用 600円
 (40歳以上 年1回まで)



大腸がん検診
QRコード



部門紹介 | 総務課

病院だけではなく企業であればどこにでもある部署、それが総務課です。現在は管理職2名、スタッフ5名、パート2名の計9名が担当しています。

医師、看護師、薬剤師、技師、セラピスト等の医療スタッフはもちろん、事務職員でも医事課や診療情報管理士など一般的に病院職員のサービスの対象は患者様です。総務課は国家資格を持った病院職員に専門業務に集中して働いていただくため、勤怠・入退職などの人事労務手続、医療材料や備品の手配を担う用度管理、医局秘書、電話交換など業務は多岐にわたり、さながら病院内の役所を担い職員間の潤滑油として職員をサポートしています。

患者様と直接やり取りすることはあまり多くありませんが、医療機材の手配や煩わしい書類手続を引き受けることで、医療スタッフが安心して業務に専念でき患者様により良い医療を提供できるよう、間接的に病院を支えています。

医療業務としては日の当たる部署ではありませんが、職員の笑顔が最大のご褒美であると信じ、縁の下の力持ちとしてスタッフ一同頑張っています。 総務課長 中山 俊明（前列 左）



2月25日（土）当院で『第25回 院内学術研究発表大会』を開催



医療やケアの質向上に向けた日頃の取り組みや研究成果について、院内各部署と同法人であるライフプラザ新緑（介護老人保健施設）から、合わせて16演題が発表されました。

毎年、本大会を通して他部門の取り組みを共有し、意見交換することで、サービス向上や業務改善のアイデアが生まれます。今後もより良い医療を目指し、職員一同、研鑽を続けてまいります。

Vol.1



3月18日（土）10時～11時 横浜市白山地区センター自主事業 ふれあい健康講座

「膝関節・股関節の痛み！ ～痛みの原因と治療について～」

講師 横浜新緑総合病院 整形外科部長 上野 岳暁（たけあき）医師

気になる症例や治療法・予防法についてわかりやすくお話頂きます。この機会に楽しく知識を深めましょう。お気軽にご参加下さい！※一般利用の駐車場がありません。お車はご遠慮下さい。



会場：横浜市白山地区センター 中小会議室（鴨居駅より徒歩7分） 参加費：無料 定員：50名（一般）

お申込み：受付中（先着順） 白山地区センター 電話 045-935-0326 又は 直接 地区センター窓口にて

※ 4月、5月も当院医師による「ふれあい健康講座」が予定されています。

平成29年 みんなの健康講座

主催：横浜新緑総合病院

※参加費無料

平成29年3月18日（土）講師 リハビリテーション部 言語聴覚士 末綱 和恵 主任

「嚥下（えんげ）障害とその予防 ～食事の時にむせこみませんか？～」



会場 十日市場地区センター 2階中会議室（十日市場駅より徒歩5分） 時間 午後1時30分～2時30分

お問合せ 地域医療連携室 045-984-6216（直通） 045-984-2400（代表）

平成29年4月15日（土）講師 横浜新緑総合病院 岸 博久 脳神経センター長

「認知症」 ～物忘れ 気になる人集まれ！～



当院の詳細はホームページをご覧ください <http://www.shinmidori.com/>

QRコード→